

令和7年度第1回神奈川県鳥獣総合対策協議会

開催日時 令和8年3月25日(水) 13時30分から16時45分まで
開催場所 万国橋会議センター 4階401号室・402号室
出席者 ◎石井 信夫、小泉 透、中村 幸人、青木 雄司、岩田 晴夫、金子 直樹、
神戸 泰明、齋藤 啓裕、鈴木 聖基、山下 秀詔、岩田 和剛(久保田委員代理)、臼井 範雄
(◎は会長、副会長は欠席)
委員 16人中12人出席(過半数)により会議は成立
傍聴 0人

会議の経過は次のとおりです。

1 開会

(事務局：武田自然環境保全課副課長)

定刻となりましたので、令和7年度第1回神奈川県鳥獣総合対策協議会を開始させていただきます。

本日は16名のうち、12名が出席されて、過半数の出席がありましたので、神奈川県鳥獣総合対策協議会の設置及び運営に関する要綱第6条第2項に基づき、会議が成立することをご報告します。

本日の会議録は発言者の氏名を記載したものを、皆様に内容確認して連絡いただいた後、県のホームページで公開しますので御了承ください。

なお、傍聴人の定員は10人以内になっておりますが、本日の傍聴人はおりません。

ただいまより、令和7年度第1回神奈川県鳥獣総合対策協議会を開催いたします。議事に先立ちまして、環境農政局緑政部長の能戸からご挨拶申し上げます。

(事務局：能戸緑政部長)

皆さんこんにちは。県の環境農政局緑政部長の能戸と申します。

委員の皆様には、お忙しいところ、鳥獣総合対策協議会にご出席をいただきありがとうございます。また、日頃から、鳥獣行政をはじめ県政全般にわたり、御協力、ご指導を賜り、改めてお礼を申し上げます。また、本日は昨年6月の改選後、初の会議ということで、令和9年5月末までの間、本県の鳥獣行政につきまして、御指導賜りますよう、よろしく願いいたします。

本日は、ニホンジカ・ニホンザルの管理事業実施計画についてご議論いただくとともに、次年度が、現行の計画期間終了となる第二種特定鳥獣の管理計画、本県ではシカ・サル・イノシシの管理計画ですが、今後の方向性などについて、報告させていただく予定です。本日

はよろしくお願ひ申し上げます。

(事務局：武田自然環境保全課副課長)

本協議会につきましては、構成委員の任期は2年間となっており、昨年5月末日をもって、委員の任期が満了したことから、改めて委員就任の依頼をさせていただきました。本日ご出席の皆様には、委員就任のご承諾をいただき誠にありがとうございます。任期も改まっておりますので、ここで委員の皆様のご紹介をさせていただきます。(所属と苗字のみ紹介)

それでは、改めまして、本日は委員改選後、初めての会議ですので、まず、会長、副会長の選出をお願いいたします。

会長、副会長の選出は、協議会運営要綱第5条第1項に基づき、委員の互選により選ぶこととなっておりますが、どのようにいたしましょうか。

(小泉委員)

これまで会長職を担っていただいている石井委員に引き続き会長をお願いしてはいかがでしょうか。

(事務局：武田自然環境保全課副課長)

石井委員とのご意見をいただきましたが、いかがでしょうか。

(委員全員)

異議なし。

(事務局：武田自然環境保全課副課長)

石井委員よろしいでしょうか。では、会長席に移動をお願いします。

(石井会長)

改めまして、石井です。引き続きお引き受けしたいと思います。よろしくお願ひいたします。神奈川県鳥獣管理に関する会議であり、円滑な実施とともに必要な議論は十分行われるように努めたいと思います。

(事務局：武田自然環境保全課副課長)

それでは、以降の進行に関しましては、協議会運営要綱第5条第2項に基づき、議長である石井会長にお願ひいたします。

(石井会長)

続いて、副会長を選出したいと考えますが、副会長は前任期に努めていただいた、神奈川県農業協同組合中央会の中村委員にお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。中村委員は本日、ご都合によりご欠席となっておりますが、中村委員へは事前に事務局より副会長の就任内諾をいただいております。

(委員全員)

異議なし。

(石井会長)

それでは、中村委員に副会長をお願いすることといたします。

早速、本日の議事に入りたいと思います。

2 議事

(1) 第6次神奈川県ニホンジカ管理計画について

(石井会長)

1つ目の議題は、第6次神奈川県ニホンジカ管理計画についてです。事務局から資料の説明をお願いします。

《事務局から説明》

(石井会長)

ただいま事務局から説明いただきました件について、御意見・御質問等がありましたらお願いいたします。

(中村委員)

自然植生回復エリアでの植生回復について、量的な面だけでなく質的な面(どのような植物が増減しているか)の評価が非常に重要です。森林生態系の回復が目的なので、シカの餌となる植物が回復するだけでなく、本来の森林生態系を支える植物種が回復しているかどうかのデータをご提示いただきたいです。参考資料にある東丹沢のデータで、林内とギャップでの植生の違いや出現する植物種の変化がわかると、回復のプロセスが質的に評価できます。こういった質的なデータも提示していただきたいと思います。

(事務局：自然環境保全課 鈴木副技幹)

貴重なご意見ありがとうございます。今回お示したのは素案の段階ですので、次年度には、新たなデータも提示しながらご意見を伺い、素案を作成してまいりたいと考えております。

(中村委員)

もう一点質問です。被害防除対策エリアの方向性にある「成功事例」の具体的な内容を教えてください。また、定着防止区域での課題である「箱根での定着と分布の拡大」について、それを防ぐためにこれまでどのような対策をとってきたのかご説明をお願いします。

(羽太課長)

成功事例としては、鳥獣被害対策支援センターが入り、地域全体で一体となって対策に取り組んだ結果、被害が減少し、住民のモチベーションが向上したケースが挙げられます。防護柵の設置や草刈りなど捕獲以外の対策も進んでいます。箱根の定着防止については、密度が高い場所で捕獲を行うとともに、環境省や林野庁、隣接する静岡県とも情報共有し、連携して捕獲を進めてまいりました。

(岩田委員)

植生回復について、自然環境やシカの食害強度によってパターンが変わると思うので、回復のプロセスをモデル化して指標となる植物を示すことで具体的な施策の方向性が確認できるのではないのでしょうか。また、そろそろ考え方を発展させ、箱根の生物多様性保全をいかに担保するかという視点も必要ですので、ご検討をお願いします。

(青木委員)

定着防止区域について、農業被害の軽減だけでなく、貴重な自然環境を守るという視点も取り入れるべきではないのでしょうか。例えば相模原市緑区のギフチョウの生息地で、食草のカンアオイがシカに食べられてギフチョウが減少していると聞いています。

(事務局：自然環境保全課 鈴木副技幹)

定着防止区域は、そもそも生息させないことが目的であり、結果として生物多様性の保全にも繋がると考えております。ギフチョウの件についても関係部門と情報共有してまいります。

(羽太課長)

植生回復のモデル化については、現状はまず裸地化を防ぐための土壌保全の段階ですが、モニタリング調査を続けながら目標段階を設定していきたいと考えています。

(岩田委員)

トレイルカメラの活用について、高画質のカメラとセンサーライト等を組み合わせることで、シカの行動圏や個体数をある程度把握しやすくなるのではないのでしょうか。ドローンの活用も含め、モデル地区を作って被害状況を詳しく調べる工夫をしていただきたいと思います。ただ、個体識別が難しいため、データの処理で苦勞する懸念はあります。

(事務局：自然環境保全課 永田課長)

カメラデータはAIを使って種類判別ができるようになってきており、密度と植生の関係を見る指標としてモデル的に調査を行っております。ご提案いただいた手法も参考にさせていただきます。

(2) 令和8年度神奈川県ニホンジカ管理事業実施計画(案)について

(石井会長)

2番目の議事に移りたいと思います。令和8年度神奈川県ニホンジカ管理事業実施計画(案)の説明をお願いします。

《事務局から説明》

(石井会長)

ただいま事務局から説明いただきました件について、御意見・御質問等がありましたらお願いいたします。

(小泉委員) (専門部会報告)

3月に開催されたシカ専門部会での議論をご報告いたします。生息数は減少傾向にありますが、依然として高密度地域があるため引き続き捕獲の取り組みが必要です。ICTやドローンを活用した効率的な捕獲の推進、専門技術を持つ人材の確保、錯誤捕獲を防ぐ罠の導入などが意見として出されました。また、植生回復の目標を明確にし、アウトカムを意識した計画にしてほしいという要望がありました。

(中村委員)

実施計画案について、毎回資料が膨大で全てを理解するのは困難です。前年度の対策とその結果、今年度の対策方針というエッセンスだけをまとめた資料を出していただけると、議論がよりスムーズになると思います。

(石井会長)

全く同感です。要点を整理した資料をご用意いただくと助かります。

(岩田氏 (福田委員代理))

秦野市として、シミュレーションの捕獲圧パターンのうち、目標を達成するには最も高い捕獲圧が必要だと認識していますが、これは県としての指針でしょうか。

(事務局：自然環境保全課 鈴木副技幹)

シミュレーションはあくまで参考目標であり、各市町村の体制や予算の範囲内でご協力いただければと考えております。

(3) 第6次神奈川県ニホンザル管理計画について

(石井会長)

続いて、3番目の議事に移りたいと思います。第6次神奈川県ニホンザル管理計画について、説明をお願いします。

《事務局から説明》

(石井会長)

ただいま事務局から説明いただきました件について、御意見・御質問等がありましたらお願いいたします。

(中村委員)

T1群の行動域を見ると、森林に戻らない「アーバンモンキー」となっています。針葉樹林が多く広葉樹林が少ないことが原因の一つではないかと思いますが、広葉樹林への転換など、森に戻すための対策は考えられないでしょうか。

(事務局：自然環境保全課 鈴木主任主事)

T1 群は長年市街地等で生活しており、森林で暮らした経験のない世代がほとんどのため、よほど強固な対策をしない限り、森林に戻すのは難しい面があります。

(臼井委員)

「西湘地域個体群の消滅の可能性が高まっている」という表現について、地域住民の切実な被害状況を踏まえると、少し配慮した書き方が必要ではないでしょうか。

(事務局：自然環境保全課 永田課長)

被害の深刻さは十分に認識しており、除去の方向性も踏まえて検討を進めるという意味での記載ですが、誤解を招かないよう表現には注意いたします。

(青木委員)

隣接都県と管理方法の統一が取れていないという課題について、第6次計画までに統一を図るべきではないでしょうか。

(事務局：自然環境保全課 永田課長)

現状で、行動域の大半が隣接県側にある群れについて、本県の方針を隣接県に指示することは難しく、情報共有を図っていくこととしています。

(山下委員)

厚木市でもサル被害に悩まされており、過去に群れを全頭捕獲した場所に新たな群れが入り込み、人身被害も発生しています。T1 群の被害件数が1万件にも上るという状況は非常に深刻です。種を残すのであれば、どのように管理していくのかを具体的に示していただきたいです。

(石井会長)

保全を考える際には、遺伝的な特異性があるかなど、根拠が必要だと思います。情報が不足しているため、引き続きサル部会等でご検討いただきたいと思います。

(4) 令和8年度神奈川県ニホンザル管理事業実施計画(案)について

(石井会長)

では4番目の議事に移りたいと思います。令和8年度神奈川県ニホンザル管理事業実施計画(案)の説明をお願いします。

《事務局から説明》

(石井会長)

ただいま事務局から説明いただきました件について、御意見・御質問等がありましたらお願いいたします。

(齋藤委員)

保全の考え方や困難な群れの除去について、どのタイミングで協議していくのか、今後のスケジュールを教えてください。

(事務局：自然環境保全課 永田課長)

今年度中に素案、案を作成し、各段階で部会や協議会にお諮りして議論を進めていく予定

です。

(5) 第3次神奈川県イノシシ管理計画について

(石井会長)

では5番目の議事に移りたいと思います。第3次神奈川県イノシシ管理計画の説明をお願いします。

《事務局から説明》

(石井会長)

ただいま事務局から説明いただきました件について、御意見・御質問等がありましたらお願いいたします。

(鈴木委員)

三浦半島での生息分布の拡大について、生息数は増えているというご認識でしょうか。また、大型獣市街地出没マニュアルの活用と、専門家による支援の充実をお願いいたします。あわせて、三浦半島地域では根絶（定着解消）を目指すという方針を改めて確認させてください。

(事務局：自然環境保全課 梶ヶ谷副主幹、永田課長)

イノシシの生息数推計方法は確立されていませんが、捕獲数が増加していることから生息数も増えている可能性があります。市街地出没時にはマニュアルを活用し、緊急時には制度を活用して対応いたします。三浦半島地域については、現行計画の考え方を継承し、定着解消を目指す方針です。

(中村委員)

集落環境整備について、耕作放棄地等のヤブ対策（草刈り）を具体的に記載していただきたいです。ヤブがイノシシの温床になっています。

(事務局：自然環境保全課 梶ヶ谷副主幹)

貴重なご意見ありがとうございます。今後の計画作成において参考にさせていただきます。

(岩田委員)

イノブタの交雑について、確認されているでしょうか。また、豚熱の県内での拡散状況について教えてください。

(事務局：自然環境保全課 永田課長)

イノブタに関する詳細な情報は把握しておりません。豚熱の分布状況については、後日情報提供できるようにいたします。

(石井会長)

では、本日用意していただいた議事はこれで一通り終了しましたので、全体を通じて何か

あればお願いします。

(石井会長)

特になければ事務局にお返しします。

(事務局：武田自然環境保全課副課長)

本日は、どうもありがとうございました。それでは、以上をもちまして、令和7年度第1回神奈川県鳥獣総合対策協議会を閉会させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。